

府中市行政提案型協働事業 事業概要書

事業テーマ	バリアフリーマップの作成			
<p>1 この事業を提案した理由や背景</p> <p>本市では高齢者、障害のある人を含めた全ての人々が安全で、安心して、かつ快適に暮らし、また訪れることができるまちづくりを進めている。その中で、高齢者や障害のある人、子育て中の人などが日常生活上の外出をスムーズに行えるよう、また本市に安心して訪れてもらえるようバリアフリーマップを作成する必要がある。</p>				
<p>2 提案事業に関し、現在市で取り組んでいることと、その課題</p> <p>【取り組み】 既存のバリアフリーマップは平成21年4月改訂版が最新であるが、情報が古く、内容も公共施設等の施設情報が主なためマップとしての機能に乏しい。平成29年度に、担当職員が今後の全面改訂に向けて、府中駅周辺の点字誘導ブロックなどの調査を行い、とりまとめたものを平成30年4月から市のホームページに掲載している。</p> <p>【課題】</p> <p>① 調査を行うためのマンパワー不足 ② 作成に当たってのノウハウが乏しい</p>				
3 総合計画上の位置付け	施策番号	26	施策名称	福祉のまちづくりの推進
<p>4 事業の目的と協働により達成したい目標</p> <p>高齢者や障害のある人を含む市民の意見、要望を取り入れることにより、必要な方々が使いやすく、役に立つバリアフリーマップを作成することで、連携・協働で進める福祉のまちづくりを推進する。</p>				
<p>5 市の役割・市民の役割として想定すること</p> <p>※担当課において現状想定している内容のため、三者協議の中で変更する可能性があります。</p>				
<p>【市の役割】 事業の企画・立案補助、マップの構成・提供方法の検討補助、掲載項目の検討・調査補助、打合せ会場の確保、市担当課との調整等</p> <p>【市民の役割】 事業の企画・立案、マップの構成・提供方法の検討、掲載項目の検討・調査、作成・納品等</p>				

6 協働で事業を実施することによって見込まれる事業効果	
<p>協働にて事業を行うことにより、地域福祉計画において、目標に掲げる以下のソフト面でのバリアフリーの充実が図られる。</p> <p>① 高齢者や障害者等の気持ちに寄り添い、互いに理解し助け合う福祉意識の醸成を図る「心のバリアフリー」</p> <p>② わかりやすく利用しやすい情報提供を目指す「情報のバリアフリー」</p> <p>③ 高齢者や障害者等の当事者を含む市民の意見や要望を取り入れることにより幅広く使いやすい制度の整備を推進する「制度のバリアフリー」</p>	
7 事業経費（予定額）	要相談
※あくまでも想定している金額であり、事業経費を確保するものではありません。	※平成 31 年度予算については、平成 31 年 3 月に開催予定の議会における予算案の議決が必要です。
8 担当者からのメッセージ	
<p>行政の立場では気が付かない点など市民の方々と一緒に役に立つバリアフリーマップを作成したいと考えています。また作っただけで終わらない、次につながる取り組みにしていきたいと考えています。</p>	
9 担当課	福祉保健部 地域福祉推進課 社会福祉係